

週刊

こんにちは 山田耕平 です

2019.11.28 No.355

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺 2-2-1 1

TEL 090-9973-0941

ホームページ

<http://yamadakohei.jp>

西武新宿線鉄道連続立体交差事業 地下方式による効率化の可能性も 再検証を

シールド工法の見直しで 工期短縮・環境負荷軽減も

西武新宿線の鉄道連続立体交差事業について、地下方式を採用した場合、事業の大幅な効率化に繋がる可能性が浮上しています。



上井草駅の朝の様子。開かずの踏切解消は急務。

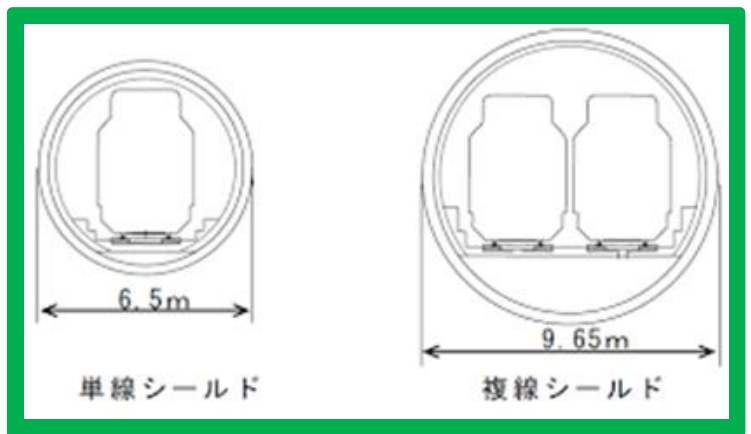
この間、西武新宿線・井荻～西武柳沢間の連続立体交差事業は、高架方式により事業が進められる方針が示されています(※地下方式については事業経費が増大すること等を理由に高架方式を採用)。

一方、シールド工法の見直しで、より効率的な事業実施の可能性が指摘されています。

一本のシールドトンネルに上下線

8月に行なわれた都議会環境・建設委員会では、西武新宿線の井荻～西武柳沢間の連続立体交差事業について、地下方式では単線シールドの検討しか行なっていないことが、党都議団の質疑によって明らかになりました。

単線シールドは、上下線を別々のシールドマシンで掘っていくもので、対して複線シールドは、一つのシールドマシンで大きめのトンネルを掘り、その中に上下線のレールを通すものです(右下図参照)。



中井～野方面は単線シールドが採用されましたが、単線シールドは横幅2本分が必要とされます。一方、複線シールドは一本分で10～12メートル程度の横幅で敷設が可能です。横浜市の相模鉄道本線で複線シールド工事が予定されており、用地買収が少なく済むことが指摘されています。

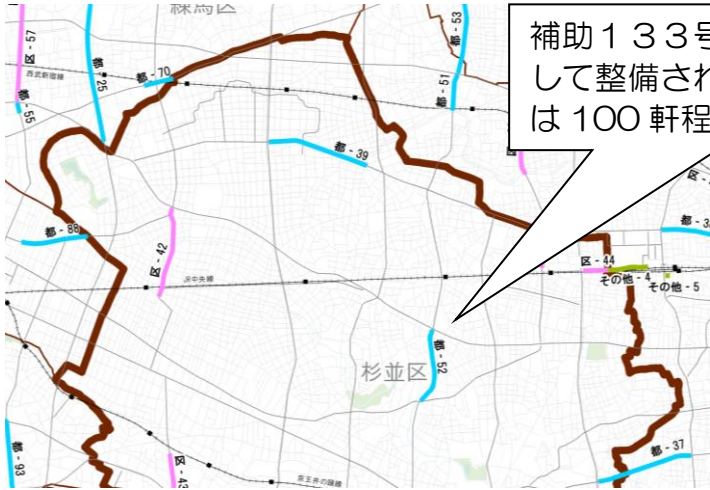
今からでも工法の再検証を

専門家からは、地下化による費用便益や環境負荷軽減効果も分析されており、複線シールドも含め事業実施の再検証が求められます。近隣住民からは、一刻も早く「開かずの踏切」の解消を求める声がありますが、高架化で事業実施した場合、用地取得にも時間がかかり、十数年程度の工期が見込まれます。

隣接自治体の練馬区でも複線シールドによる効率化に関する学習会も開催されており、党派・会派を超えた議員が集まりました。党区議団は、住民の声を反映したインフラ整備を行ない、工法等の検討を尽くすことを求めています。

区内各地で住民合意の無い道路整備が加速

補助133号線 事業認可に向け動き出す…



補助133号線は都施行路線として整備される。立ち退き棟数は100軒程度と見込まれる。

地域住民が立ち上げた「都市計画道路補助133号線に反対する会」は、説明会開始前に問題をお知らせする資料と要望書、測量お断りプレートを配布。反対する会の「のぼり旗」も立てられ、住民合意のない計画を見直すよう住民の切実な声が上がられました。

中杉通り延伸（五日市街道まで）
既存住宅街に16メートル道路が…

都市計画道路補助133号線（中杉通りの五日市街道までの延伸）の事業認可に向けた動きが開始されました。西荻窪地域の補助132号線道路拡幅を始め、杉並区内各地で住民合意の無い道路計画が深刻な問題となっています。

11月14日・16日に東京都から、補助133号線の事業概要、測量の説明会があり、2日間で340人の方が参加しました。



大勢の住民が参加。

参加者からは活発に意見が出され、道路の完成まで10年以上かかる。道路用地の買い取りの補償について、道路部分は買い取るが残地は価値が目減りした分を金銭で補償するのが原則的な対応。残地の買い取るの補償は受けられない。

・道路用地周辺の健康被害や補償は受けられない。

等々、住民の権利が大きく制限される実態が明らかとなりました。不要不急な道路計画は撤回すべきです。

西荻窪 道路反対 第2回パレード

12月7日（土）15時～
西荻窪平和児童遊園集合
（杉並区西荻南3-18-9）

ぜひ、ご参加ください！

ニシオギ 132
No.5 2019. 11. 26

西荻に、広い道路は似合わない！

道路拡幅
認可反対
署名

現在 **5087** 筆！



THANKYOU



今年度の認可をストップさせよう

署名はどんどん増え続けています！！

12月7日(土)パレード開催

西荻窪平和児童遊園 集合

◇15時出発！西荻の街を皆で歩きましょう。事前に駅前ニュース配布。署名集めます。ご協力よろしく！

132号線道路拡張反対！

さらば、上からの都市計画

商店街を守れ！

住民が作成した第二回パレードの告知チラシ

今週のコーナー

おやじの会「まっくらくらす」②

今回の目玉は電村の自転車発電。災害での停電が頻発する中、自らの力で発電を行なうというもの。私の自転車フル稼働しました。



こぐのを止めると直ぐに真っ暗闇…。電気の大切さを知りました。

我が愛車はハードな使用にも耐え抜きました（涙）。よく頑張ってくれた！